

# 広報

# だんち

2026  
3月号

NO.530

(協)焼津水産加工  
センター発行  
焼津市惣右衛門1280番地の2  
令和8年3月30日発行  
編集・総務係  
TEL・054-624-2111  
FAX・054-623-3834  
HP・http://www.yaizufpc.or.jp

## 3月団地の言葉

### 「手洗い・消毒・うがいこそ

### 衛生管理・健康管理の基本です」

今シーズンもインフルエンザが流行し、昨  
年秋からの早期流行に続いて、年明けから  
「第2波」とも言える流行が継続しています。

特に今年1月から2月にかけては「一旦落ち  
着いた後に再度急増する」と言う、これまで  
とは異なるパターンが見られました。昨年秋  
から今年1月まではA型が主流でしたが、年  
明けからB型が主流になり、これが所謂「第  
2波」と言われる再流行の主な原因の1つと  
言われています。また、A型とB型が入れ替  
わる様に流行していたので、今シーズンだけ  
で2回感染した方も多いそうです。例年です  
とB型は3月〜4月の春先まで続く傾向にあ  
るので、一度かかった方も油断せずに健康管  
理や手洗い・うがい・消毒など感染予防を徹  
底して下さい。また、最近では花粉症の症状か  
と思つて病院に行くと「インフルエンザです」  
などと診断されるケースもあるそうですが、  
発熱を伴わない場合に鼻水などの症状で誤認  
してしまう様です。団地で働く皆さん自身や  
ご家族は如何でしょうか？コロナ禍以降、感

染症対策・対応にはどの企業も苦心しておら  
れる事とお察しします。筆者は3月10日（火）  
に静岡市内で開催された「新型コロナウイルス  
S感染症の経験から学ぶ今後の感染症対策」  
と言うテーマの講習を受講して参りました。  
コロナ禍で学んだ教訓や、ワクチン接種をは  
じめとした普段からの感染防止策や、集団発  
生時（パンデミック）の各事業所での対応策  
などについてお話を伺いました。感染予防策  
としては「衛生管理・手洗い・消毒の徹底」  
に尽きると仰っていました。当加工団地でも  
コロナウイルスに感染した方が大勢いたと記  
憶していますが、大勢の技能実習生が同時に  
感染した事で対応に苦労した事を思い出しま  
した。その後、行政でも災害対応、特に災害  
時の避難所運営に関するガイドラインに「感  
染症対応」を盛り込んだり、企業の策定する  
BCPでも同様に「感染症対応」を追加する  
など「パンデミックが再び起こる」前提で考  
えられています。

避難所運営と言えば3月8日（日）には  
「焼津市災害時初動訓練」が実施されました  
が、皆さん参加されましたでしょうか？和田  
地区では、避難訓練と救護訓練や水消火器を  
用いた消火訓練を行いました。何度もこの紙  
面で「訓練で出来ない事は本番でも出来ない」

とお伝えしていますが、災害時に自らの安全、  
またご家族の安全を守る為の訓練です。「た  
かが訓練」と軽く考えず、危機対応能力を向  
上させるつもりで積極的にご参加下さい。な  
お、マリンコーポ、ビレッジハウスに居住す  
る実習生達も訓練に参加し、町内会指定の避  
難場所にも全員で避難しました。災害時には人  
種や年齢問わず、等しく全員が「被災者」に  
なり得ます。今回の訓練を通じて少しでも防  
災・減災に対する意識を高めて下されれば幸い  
です。

今月のだんちの言葉はマルテ小林商店さん  
の作品です。

### 今月の紙面

p2 3月の定例役員会／60期生集合講習終了  
／61期生面接を実施

p3 焼津市国際理解講座に実習生が参加／新  
入県政報告会／静岡県中小企業団体中央  
会表彰式

p4 カツオ情報／今月の写真

4月の組合行事予定

4月13日（月）  
定例役員会

4月の暦

4月29日（金）  
昭和の日

## ◆3月の定例役員会◆

去る3月9日に、3月度定例役員会が開催されました。

### 1 令和8年度予算案の上程

事務局の各部門長により作成した部門別損益を取りまとめた令和8年度予算案が上程された。これについては、1か月間の検討機関を設けて役員各位にて検討し、次回4月会議にて審議し決定したいと説明され、原案通り継続審議とされた。

### 2 団地内土地利用推進に関する臨時総会の開催について

令和7年度の重点取組事項案の一つである団地内土地利用推進に関して、団地内の組用地譲渡についての協議開始の是非、令和9年4月より開始される「育成就労制度」への対応とした定款変更、以上2点を内容とする臨時総会開催について承認され、理事長名にて開催の招集することとされた。

### 3 その他報告連絡事項

「人事採用関連」「技能実習生の実習期間途中終了及び帰国の報告」ほか2件について了承された。

## ◆60期生集合講習終了◆

3月13日、60期生19名の実習生について、集合講習の終了式を執り行いました。

2月10日の入国から本日まで、合計176時間以上にわたる講習を実施し、法的保護講習、消防署での防災・防火訓練、焼津警察署による交通指導、安全教育、社会見学など、多岐にわたる内容を学びました。日本語



の習得と併せて、これから日本で生活するための基礎知識をしっかりと身に付けることができました。

今回の19名は、インドネシアからの受入れ第二期生にあたり、当初予定していた3月中旬よりも約1か月早く入国できたこと

で、受入れ企業への早期配属が可能となりました。特に新規受入れ企業にとっては、人手が必要な時期であり、大きな助けとなりました。

また、第一期生の実習状況を見て「インドネシアからの受入れは大丈夫だ」と評価が高まり、期待を寄せる企業が増えていることも印象的です。

1か月の講習期間を通じ、監理団体職員からは「19名全員が明るく、日本語習得への意欲が高く、非常に真面目」という評価が多く寄せられました。これまでの受入れの中でも特に良い印象を受けており、今後の実習に大いに期待が持てるグループです。

終了式では、実習生代表として（株）マルヨシの IRWAN SOFYAN 君が挨拶を行い、その流暢な日本語に出席された企業代表者から高い評価をいただきました。

19名の今後の活躍について、受入れ企業および監理団体ともに大きな期待を寄せており、今後の成長を楽しみにしております。

## ◆61期生面接を実施◆

インドネシア第3期実習生の面接が無事終了しました。



今回の募集はインドネシアからの受け入れとして3期目となります。1期生・2期生の高い評価を受け、今回は新たに4社から応募があり、最終的に男子11名、女子4名の候補者が選出されました。

面接は1社のみ現地で実施し、その他の企業についてはZoomによるオンライン面接で人選を行いました。送り出し機関では事前審査が厳格に行われ、多岐にわたるテストを実施したうえで総合評価を募集企業へ提供しており、面接時の重要な参考資料となっております。

2期生19名は来日後、監理団体による集合講習を受講しましたが、さらに夜間には送り出し機関の担当者が約2時間、日本語学習のサポートや質疑応答を行い、実習生たちが自信を持てるよう手厚いフォローが行われました。

今回の3期生は、今年6月初旬に来日する予定です。受け入れ企業の皆さまは、新たな実習生たちの活躍に大きな期待を寄せています。

## ◆焼津市国際理解講座に実習生が参加◆

3月1日、焼津地域の多文化共生推進事業の一環として、在住外国人と地域住民が一堂に会する「国際理解講座」が焼津地域交流センターで開催されました。本講座は、焼津市国際友好協会事務局（焼津市協働推進課）が主催したものです。

当日は、日本茶インストラクターの中村裕子先生を講師に迎え、茶葉の種類やおいしい日本茶のいれ方を実践形式で学びました。和室での体験を通して、日本文化に触れながら地域の日本人参加者との交流も深まり、和やかな雰囲気になりました。

実習生は約7名が参加し、深蒸し茶と玉露の2種類のお茶を順番に「もてなされる」両方を体験しました。おいしいお茶とお菓子を味わいながら、自然と会話が弾み、参加者同士の距離が縮まる貴重な時間となりました。



的に地域の活動へ参加することを応援しており、日本語や日本文化の体験を通して、一日でも早く日本での生活に溶け込めるよう今後も支援してまいります。

## ◆良知後援会県政報告会◆

片山さつき財務相が焼津で講演

良知淳行後援会

県政報告会にて

去る2月19日に



大井川ミュージコにて、地元選出の県議である良知あつゆき後援会主催の県政報告会が行われた。当日は中野弘道焼津市長、井林辰憲衆議などの来賓も多数駆け付け、会場内には500人も市民が訪れた。

また、時局講演として片山さつき財務相が来焼。高市早苗内閣で取り組む「責任ある積極財政」についてかみ砕いて説明し、その上で設備投資や個人消費の伸長を促していく考えを説いた。更に、アメリカほか先進国が我が国の財政への関心についても触れ、国内外のキーパーソンとの密な関係で意見交換し「常にマーケットと対話している」と説明した。

講演後には、後援会から片山財相へ花束贈呈と地場産品の贈呈を行い、地場産品のうち鯉節の贈呈を、当組合の長谷川隆人事務局長

が贈呈。壇上にて当団地へ来訪していただいたときのことも触れていただいた。

## ◆静岡県中小企業団体中央会表彰式◆

令和8年2月

12日（木）、静

岡市内で「静岡

県中小企業団体

中央会創立70周

年記念表彰式典」

が開催され、長

谷川事務局長が

「組合優良職員」

の部で表彰され

ました。県内の

東部・中部・西

部地区それぞれ

の組合事務局から3名づつ選出され、山崎会

長より壇上にて賞状と記念品を授与されました。

長谷川事務局長より「節目の年に賞を頂

き気持ち引き締まる思いです。国内外を取

り巻く様々な要因により、企業経営も先が見

通しにくい状況下ではございますが、組合員

の皆様と力を合わせて困難を乗り越えていき

たいと思います」と今後の抱負が語られまし

た。



2026年（1月計）の輸出入

※輸出はFOB価格、輸入はCIF価格  
 ※財務省貿易統計データを加工して作成



カツオ

<輸出>		2026年		2025年	
	数量 t	価額 (千円)	数量 t	価額 (千円)	
タイ	597	134,261	608	140,973	
フィリピン	228	58,396	147	39,522	
計	825	192,657	755	180,780	

<輸入>		2026年		2025年	
	数量 t	価額 (千円)	数量 t	価額 (千円)	
インドネシア	1,752	425,559	2,278	483,552	
ブルネイ	56	12,643	—	—	
ベトナム	45	8,533	100	15,484	
計	1,854	446,735	2,484	518,604	

FOB (Free on board)

買手の指定した本船に商品を積み込むまでの費用を売り手が負担する条件

CIF (cost, insurance and freight)

買主指定の輸入港までの運賃と保険料を付け加えた条件

※水産庁統計データ冷蔵水産物流通統計月末在庫を加工して作成

冷凍かつお月末在庫量	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2025年(単位:t)	22,194	23,028	19,309	20,761	19,979	17,142	15,898	18,478	19,240	18,736	18,908	21,106	234,779

§ 国内主要漁港市場の水揚（2026年1月計）

※水産庁統計データ産地水産物流通統計を加工して作成

情報

<生カツオ>	2026年		2025年		前年比%	
	数量 t	単価	数量 t	単価	数量	単価
<生カツオ>	111	622 円	55	887 円	202%	70%
<冷カツオ>	17,558	279 円	9,554	289 円	184%	97%
<カツオ合計>	17,669	281 円	9,609	292 円	184%	96%

§ 焼津水揚（2026年1月～2月計）

※焼津漁業協同組合統計データ取扱高対比表を加工して作成

<1本釣カツオ>	2026年		2025年		前年比%	
	数量 t	単価	数量 t	単価	数量	単価
<1本釣カツオ>	3,575	337 円	3,011	332 円	119%	102%
<巻網カツオ>	8,171	228 円	6,389	247 円	128%	92%
<カツオ合計>	11,746	261 円	9,400	274 円	125%	95%



河津桜



今月の写真



アオサギとトビ



カワセミ



ジョウビタキ